

登録コード	A3591380	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	三木 敦朗
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					既存の研究を整理する能力を獲得している	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					既存の研究を批判する能力を獲得している	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					既存の研究を整理する能力を獲得している	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					既存の研究を批判する能力を獲得している	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。 担当教員が民間研究機関での産業調査の実務経験を活かして講義を行います。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。 最終回の最後の15分は授業アンケート						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	プレゼンテーション資料の内容（見やすさ、理解のしやすさ）と、報告の方法、質疑応答の内容によって評価する。						
(8)事前事後学習の内容	教科書の事前学習を要する。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	受講態度と最終回に提出した課題の内容						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員に連絡のこと。						
(12)履修上の注意							
【教科書】	本多勝一『日本語の作文技術』朝日新聞出版、2015年 その他、4年次の研究に不可欠な必読文献をいくつか指定する。それらの読了を要する。						
【参考書】	宮野公樹『研究発表のためのスライドデザイン』講談社、2013年						